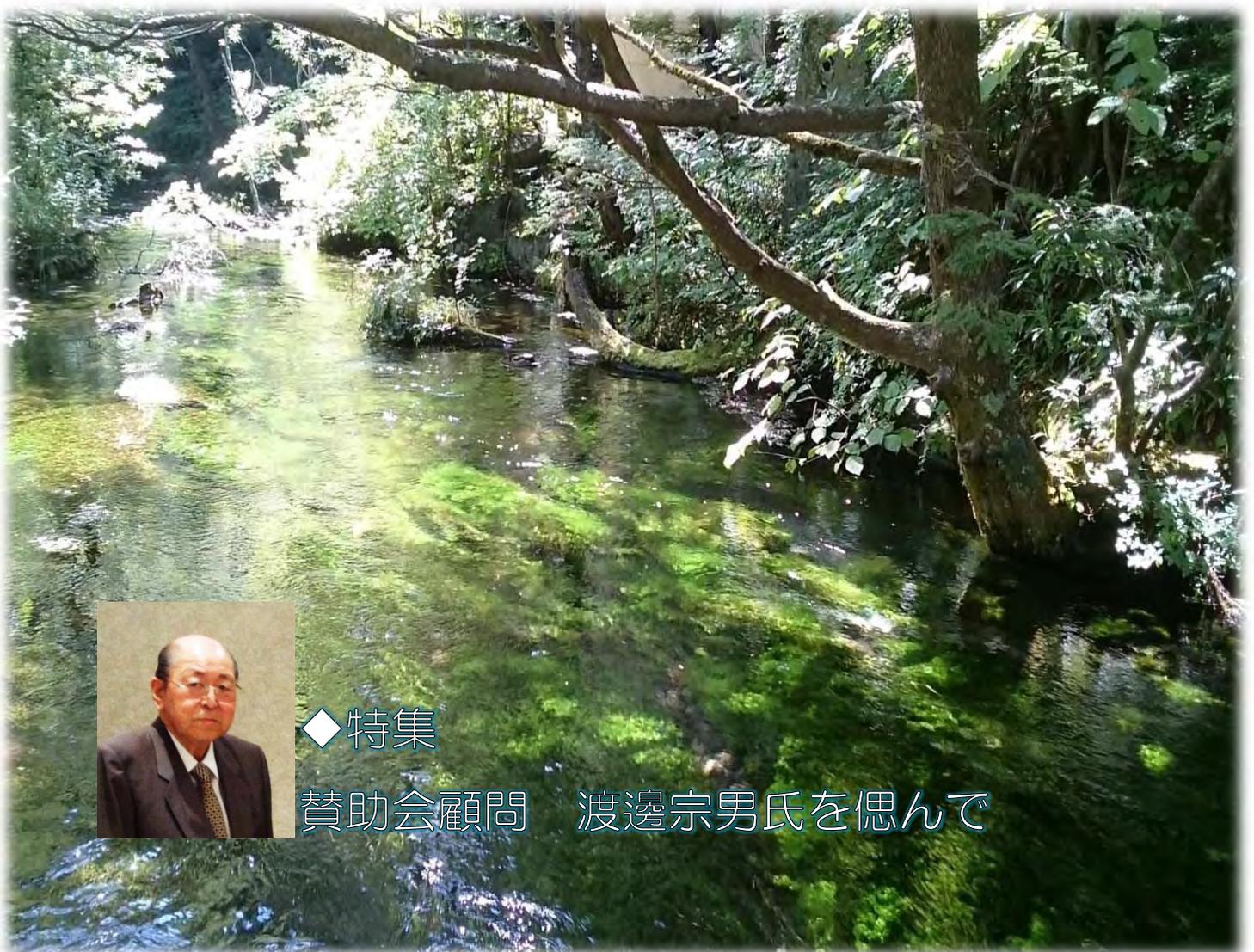




日本ボーイスカウト川崎地区賛助会
2016年12月 No.2

BOOMERANG

ボーイスカウト川崎地区賛助会は1984年に川崎地区協議会の運営の財政支援を目的に、川崎地区の有志により設立されました。
この会報「ブーメラン」は当会の歴史と活動内容を広く皆様へご紹介する目的で発行しているものです。



◆特集

賛助会顧問 渡邊宗男氏を偲んで

【特集】

■賛助会顧問 渡邊宗男氏を偲んで

賛助会 副会長
近江 廣之



平成 28 年 7 月 6 日、91 才で天寿を全うされました。賛助会の 2 代目の会長として 14 年間奉仕され、その後も顧問として私たちを先導していただきました。「ありがとうございました」言葉以外の言葉はありません。

賛助会の発足まで、地区の財政副委員長として力を出していただき、発足後は理事・副会長を経て石井英夫初代会長の後を継がれました。

思い出しますのは、石井会長は蝶ネクタイをした紳士、渡邊会長は大型ベンツに乗った紳士、そして現在の木村会長も紳士であるということです。

この三人の方々の運営方針が明確であった積み重ねが、2003 年に 3,000 万円の基本財産の達成とその後の運営に寄与しています。

渡邊さんは少年時代は大日本少年団連盟横浜支部・鶴見禁酒少年団で活動、昭和 24 年より 2 年半、日連・県連の仕事に応援し、川崎第 3 団の団委員長として奉仕、地区への奉仕をされてきました。

渡邊言語録にこんな文章があります。

- ◆片肺でよくぞ今日まで
五十年大きな夢も欲もなし
- ◆ボランティア運動も楽しいが、
小さな事業はより楽しい
なにかアイデアないものか
- ◆晩秋の七九再、十七年であけて
来年八十歳、のぞみ捨てるな希望もて



・・・など、スカウティングの中で仕事の話はあまり出さず、スカウトのことは穏やかに、常識に合った言葉が多く、「もったもです」と思うことが多かったです。

他人と自分を比較することなく、自分の生き様に忠実に人生を送られた方であると思っております。賛助会の理事会では、理事の方々への感謝と毎回の「おやつ菓子」を持って来られた「心づかい」など、後に続く私たちにいろいろなことを伝えてくれた大切な人でした。



1989.8 神奈川キャンポリーにて

ご冥福をお祈り申し上げます。

◆渡邊宗男氏 平成 28 年度の役職

1. 神奈川県少年少女育成指導者協会 理事
2. (財) ボーイスカウト神奈川連盟
維持財団 評議員
3. 日本ボーイスカウト川崎地区協議会 先達
4. 川崎第 56 団 団委員
5. 全日本オールドスカウトクラブ会員
6. 日本川崎地区賛助会 顧問
7. 日本ボーイスカウト神奈川連盟
川崎スカウトクラブ顧問

■第 179 回 理事会報告

平成 28 年 9 月 11 日に中原区川崎総合自治会館に於いて理事会が開催され、次の項目につき報告ならびに審議検討された。

1. 賛助会総会の懇親パーティーの決算報告
収益 71,500 円となった。
2. 賛助会の総会の開催日時について
従来の開催日は多摩川清掃と同じ日となっているため、開催日の変更を検討した。
3. 緊急時の連絡網作成について
今後整備を進めることとした。
4. 会報誌ブーメランの 2 号の発行について
その内容等の検討と編集の打ち合わせ会を実施すること。次回の配布時期はニューイヤーパーティとして準備を進める。
5. 新理事の承認の件



理事の減少のため新理事として 57 団の高橋夏樹氏(川崎 57 団 BS 隊長)が承認された。

■ 賛助事業報告

◆ 第25回 ボルチモア - 川崎市スカウト交流報告

地区委員長 境 紳隆
国際委員長 長谷川 博之

交流開始以来 31 年目となる 2016 年 7 月 24 日の夕刻、7 名のスカウトと 4 名の指導者が羽田空港に到着した。今年は 13 家庭のホストファミリーが彼らをゲストとして迎え、2 週間の活動が開始された。24 日の歓迎パーティーを皮切りに、翌 25 日には福田市長への表敬訪問が実施され、市長へボルチモア市長からの親書が手渡された。市長はじめ多くの方々に温かく迎えられたことは彼らの心に残ったものと思う。最大のイベントである Funny Bear Camp (合同富士登山・キャンプ) は天候が心配されたが、大きな問題もなく大半のメンバーが力を合わせ富士山頂に登頂し、加えて無事合同キャンプも終了できたことは喜ばしいことであった。両市の友情の懸け橋でもあるこの第 25 回交流行事は、約 150 名の参加とご支援のもと、お互いの再会を約束しながら無時終了することができた。この紙面をお借りして、ご支援くださった皆様へお礼申し上げます。



第 25 回 交流派遣事業 Funny Bear Camp
富士山頂にて

■ 2016 年度 地区ラリー報告

地区委員長 境 紳隆
スカウト支援委員会委員長 林 剛一郎

9 月 25 日 (日)、平成 28 年度の川崎地区ラリーが中原区・平和公園で行われました。このラリーは川崎地区のスカウトたちが集まる唯一のイベント。当日は天候に恵まれ、総勢 600 名を超えるスカウト・指導者などが集まりました。参加したスカウトたちは、各団が中心に企画したゲームや周辺の児童公園を回るオリエンテーリングに参加し、楽しい 1 日を過ごしました。プログラムの最後には記念式典が開かれ、スカウトの表彰などが行われました。



地区ラリー ビーバーブースにて

◆ 2016 年度 第 45 期白梅隊

地区委員長 境 紳隆
第 45 期白梅隊 隊長 井上 景

10 月 9 ~ 10 日、第 45 期白梅隊の移動野営が行われました。白梅隊は毎年行われているボーイ隊の集合訓練会。昨年から移動野営を中心としたプログラムを展開しています。今年は 10 名のスカウトが移動野営に参加し、JR 足柄駅→足柄峠→矢倉岳→夕日の滝→金時山→、明神ヶ岳→宮城野を 1 泊 2 日の行程で踏破しました。



移動野営にて

白梅隊としては、8 月下旬からこの移動野営に向け、2 回の集会を実施。途中、大型の工作物として「モンキーブリッジ」の製作にチャレンジするなど、普段の活動では難しいプログラムに参加しました。



モンキーブリッジ製作に挑戦

■賛助会会計係として

会計担当 楠 明



私は賛助会発足以来「賛助会会計係」を担当しております。本来、会計担当者は長期にわたり担当を続けるべきでないと私自身考えておりますが、当会の基本財産（野村證券預け）の取引印は会長が管理し、基本

財産の動向は逐次会計係が把握できる二重チェック体制であること、每期厳格な会計監査を受けていることで、会員の皆様には安心して「川崎地区のボーイスカウト運動に賛助していただける」ものと自負して、会計係を続けております。

1984年5月、賛助会の設立準備委員会が本格稼働し、私も微力ながら会計係を担当することになり、まず同年8月16日「第1号賛助会会員」となって賛助会の銀行口座を開設致しました。

賛助会委員は会員皆さんからの会費収入の他、各委員は事業収益を得ることに努力しております。これまでダンスパーティー・賛助会総会パーティー・協議会が開催するイベント会場での売店・NYPでのオークション・ゴルフの開催などで、高収益を上げてまいりました。



1990年2月 SHARPS & FLATS を迎えてのダンスパーティー

もっとも事業収益の多くも会員の方々のご協力があって成しえたことは感謝しております。しかし賛助会を取り巻く諸事情の都合で現在開催されている事業は残念ながら「総会パーティーとオークション」の2事業になってしまいました。

皆さまの賛助会費が川崎地区協議会運営に大きく係わっており、安定した地区運営が出来るための柱として、皆さまの協力が今後も続けていただける事

が最も重要であります。

また、日本の将来を担うスカウトのために現会員の方々が仲間を増やしていただけたらこれほど心強いことはありません。

今後とも皆さまのさらなるご協力を衷心よりお願い申し上げます。

■昔の写真を探しています

賛助会草創期の活動に関する写真を探しています。写真をお持ちの方は事務局へ是非ご提供ください。プリントの写真の場合はスキャンした後ご返却いたします。是非皆様のご協力をお願いいたします。

■会員募集

当賛助会は随時会員を募集しております。青少年育成にご理解とご支援をいただける方の参加を歓迎いたします。

◆賛助会員の種類と会費

- ・ 準育成会員（年会費） 一口 2,000 円
- ・ 個人会員（年会費） 一口 5,000 円
- ・ 団体会員（年会費） 一口 10,000 円

なお、個人会員ならびに団体会員には当会の審議事項に関し議決権を有しますが、準会員につきましては議決権はございません。

お問い合わせならびにお申込み、ご意見・ご希望は下記へご連絡ください。

【お問い合わせ】

- ・ 賛助会事務局（会員担当：鈴木）

TEL: 044-955-8907 (FAX 兼用)

E-mail : h2129@jcom.home.ne.jp

■会員の声を募集しています

本誌では会員の皆様からの声を随時募集しています。テーマは自由、500字程度 of 原稿を是非お寄せください。送り先は上記賛助会事務局へお願いいたします。



●編集後記

また一人、スカウト活動を愛しその精神と共に生涯を送った大先輩が天国へ旅立った。この会報の発刊を楽しみにして下さっていた一人だった。氏の思いはブーメランのごとく我々に返ってくるに違いない。ご冥福をお祈りいたします。(H)